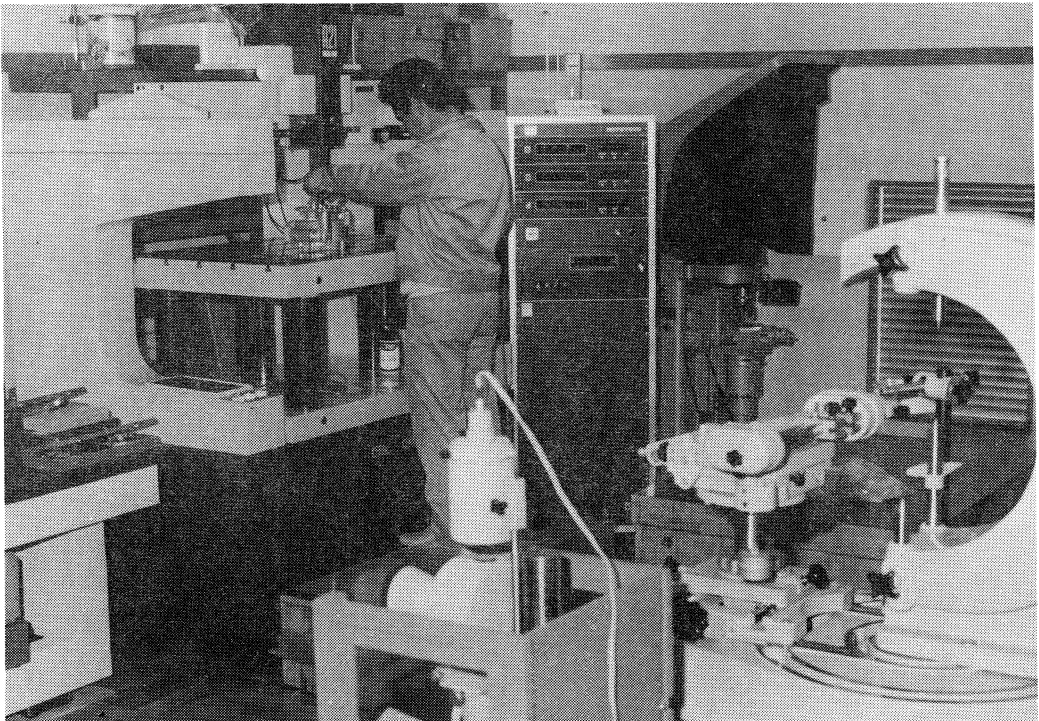


岐阜県の プラスチック

わが国プラスチック業界の展望 1978 2月号



精密測定室が完成 金属試、利用を呼びかける

岐阜県金属試験場（関市小瀬1288、加藤彰場長）は、精密測定室を改装すると同時に、工業技術センターから精密測定機器の移管を進めていたが、このほど完成したのを機会に広く

プラスチック業界にも利用を呼びかけている。

完成した測定室の広さは72平方メートル。室内は常に温度を20度C、湿度を55%に保つ恒温恒湿室。同試験場では、測定室の完成によって「機械、設計、加工、試験、測定、材料分析など一貫した研究、指導体制が整備できた」としている。写真は三次元測定機。

（精密測定室の主要設備は3ページに紹介）

岐阜県プラスチック工業組合会報

今年は5～6%アップ

わが国プラスチック業界の展望

52年は582万トンで横ばい

52年におけるわが国のプラスチック工業は停滞の一年であった。日本プラスチック工業連盟がまとめた52年のプラスチック材料生産量は581万9千トン（一部推定）で、51年とほぼ同量の実績を示した。月間生産量をみても50万トンを越えた月は1月、5月のみで、あとは45万トンから49万トンドまりで各月ほぼ平均化していた。

期待される建築、自動車部品

53年の課題を展望すると。長期不況の余波と円高の厳しい情勢下にあって、とくにプラスチック業界内にあっては「製品の安全性確保」「公害防止設備投資」「廃プラスチック処理システムの確保」さらに「プラスチック材料生産および加工段階での過剰設備対策」などが山積している。

この背景のなかでは業界の見通しは非常に苦しいものがある。昨年10月ニューヨーク市で開かれた国際プラスチック団体理事者会議で発表された各国の見方は、希望的観測を含めて5～6%アップが多かった。

また、こんご力を入れていくべき方向として①建築材料（発泡体による断熱材料、塩化ビニル樹脂を主体とした異形押出品など）②自動車部品（軽量化をめざす）③太陽熱利用施設への利用——の3点があげられた。この発想は省エ

ネルギーよりきており、時代の変化をいち早くキャッチし、それに対応していく姿勢がうかがわれる。

昭和52年プラスチック材料生産実績（単位：t）

種 類	昭和52年 (一部推定)	昭和51年	伸び率
フェノール樹脂	245,000	253,814	△3
ユリア樹脂	570,000	570,886	—
メラミン樹脂	98,000	94,368	4
不飽和ポリエステル樹脂	155,000	149,585	4
アルキド樹脂	113,000	115,568	△2
エポキシ樹脂	41,000	41,070	—
けい素樹脂	23,000	23,332	△1
ウレタンフォーム	139,000	141,122	△1
熱硬化性樹脂 小計	1,384,000	1,389,745	—
ポリエチレン（計）	1,466,000	1,392,461	5
低密度	964,000	956,767	1
高密度	502,000	435,694	15
ポリスチレン（計）	890,000	875,106	2
GP, HI	480,000	465,250	3
F S	120,000	114,999	4
A S	66,000	63,017	5
A B S	224,000	231,840	△3
ポリプロピレン	612,000	668,970	△9
ポリブテン	21,000	21,744	△3
石油樹脂	71,000	64,541	10
メタクリル樹脂	87,000	87,104	—
塩化ビニル樹脂	1,018,000	1,043,963	△2
ポリビニルアルコール	106,000	103,564	2
塩化ビニリデン樹脂	28,000	29,181	△4
ポリアミド	53,000	46,335	14
ふっ素樹脂	3,000	2,418	24
ポリカーボネート	21,000	22,127	△5
その他熱可塑性樹脂	59,000	55,287	7
熱可塑性樹脂 小計	4,436,000	4,412,801	1
合 計	5,819,000	5,802,546	--

通産省調査統計部月報1～9月を集計、10～12月はプラ工連にて推定。

10測定機器ずらり 金属試の精密測定室紹介

新装なった岐阜県金属試験場の精密測定室には、三次元測定機をはじめ光波干渉計、表面粗さ計、歯車試験機、大型投影機、工具顕微鏡など十機種が整然と並んでいる。このため金型や機械部品の形状の精密測定およびノギス、マイクロメータ等の測定工具類の精度検査を行なう。

とくに三次元測定機と万能測定顕微鏡

は、プラスチック成形用金型や精密成形品の測定に欠かせない機器である。概要次のとおり。

<万能投影機>

日本光学製、V16A型、倍率5、10、20、50、100倍。

<三次元測定機>

三豊製作製、マイクロコードA21、最小読取り値0.001mm、測定範囲700×500×250mm。

<万能工具顕微鏡>

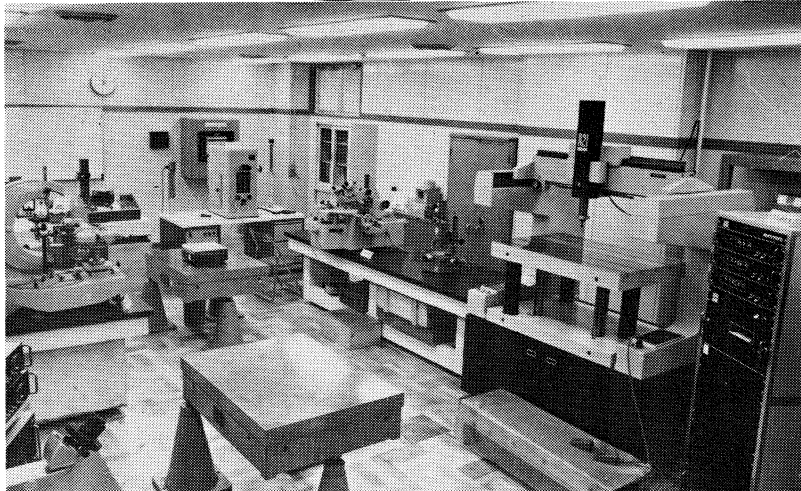
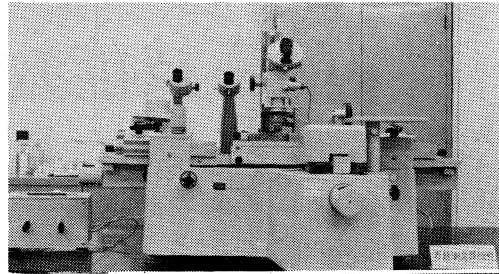
東京光学製、TUM-200D、最小読取り値0.001mm、測定範囲200×75mm。

<歯車試験機>

カール・ツァイス社製、GT、最小目盛0.001mm、測定範囲380mm（最大直径）

<プロジェクション・オプテメータ>

カール・ツァイス社製、最小目盛0.0002mm、測定範囲0~200mm。



<万能測定顕微鏡>

カール・ツァイス社製、UMM-2型、最小目盛0.001mm、測定範囲200×100mm。

<光波干渉計>

カール・ツァイス社製、INKO、絶対測定125mmまで、比較測定200mmまで。

<表面粗さ計>

テーラー・ホブソン製、タリサーフ4型、最大測定長10.8mm、倍率500~100,000倍。

<真円度測定器>

テーラー・ホブソン製、タリロンド100型、最大測定径200mmまで、倍率100~5,000倍。

<電気マイクロメータ>

東京精密製、デジジュム、最小目盛0.001mm、測定範囲0~999ミクロン。

22日から技術センターで技能短期講習会開く

岐阜県プラスチック工業組合は国県の施策に応じて2月23日から2日間「技能短期講習会」を開く。会場は羽島郡笠松町北及、岐阜県工業技術センターで、実技は各務原市前渡東、岐阜プラスチック工業稲羽工場の予定。

とくに本年度は技能検定受験を前提とした講義内容になっている。受講定員は60人、受講料は1人1,000円。内容は次のとおり。希望は当工業組合まで。

<23日>午前9時から大松幸栄理事長あいさつ。同9時10分から高分子材料について、関谷裕彦工業技術センター高分子科長。

午後1時から、成形加工技術について、西沢架斐二日精樹脂工業教官。

<24日>午前9時から、技術検定・学科試験の解説、大松春雄岐阜プラ稲羽工場長。

午後1時から、実技・プラスチック成形作業、足立弘之岐阜プラ品質検定係長。同4時から、質疑応答、講師全員。

業界の将来について論文募集

日本プラスチック工業連盟は、わが国プラスチック加工業の発展に資するため、その問題点、

将来のあり方などについて広く意見を求めることになった。この懸賞論文のテーマは「わが国のプラスチック加工業の将来のあり方（5～10年先を見通して）」で締め切りは4月末日。4百字詰原稿用紙40枚程度。資格はだれでもよく、未発表のものに限られる。

入選作には賞金20万円、佳作には5万円あるいは記念品が贈られる。また、入選作は連盟機関紙「プラスチック」に掲載される。

秋田の酒造業界がプラ箱採用

秋田県の酒造業界は、清酒の輸送、保管の合理化を目的に、従来の木箱の代わりにプラスチック箱を採用することになった。

現在使われている木箱は重く、耐用年数が半年～1年間と短かいうえ、製品（清酒）が破損しやすく、経費も割高という。ところがプラスチック箱は軽量、丈夫で安全、耐用年数は約6年もあり、さらに衛生的で経費が割安なので採用を決めた。

当面は県内出荷分に限られる。なお、すでに関西地区では3年前から採用されており、岐阜県内でも対応策が待たれている。



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

価値ある包装資材 発泡スチロールの効用

最近、発泡スチロール製（PSP）の食品トレイに社会的関心が集っている。この際、企業関係者はPSPについての認識を深め、消費者の誤解を招かぬようにすることが大切といわれる。そこで積水化成成品工業がまとめた「発泡スチロール製トレイの効用について」から要点をピックアップしてみた。

重量では全包装材中の0.6%

50年度に全国で生産された容器包装材は約1,264トンで、材質別には紙が50.8%と最も多く、ついで木、ガラス、プラスチック、金属の順になっている。

うちプラスチックが占める割合は9%で、さらにその材質別にみると、ポリエチレン62.1%、ポリプロピレン18.1%、塩化ビニル11.7%、ポリスチレン8%、発泡スチロールは全容器包

装材中の0.6%、全プラスチック容器包装中の6.4%です。

トレイ材の中で最も省資源的

包装材の中からトレイ包装材を選んで種々比較してみると、まず重量では、発泡スチロールを1とした指数は紙が3.4、無発泡スチロール1.3、無機物混合プラ2.9で最も軽いのが発泡スチロール製トレイ、最も重いのが紙で、軽いということは原材料の使用量が少ないということで、省資源的であるといえます。

炭酸ガス発生量は最も少ない

燃焼時の発生ガス量を比較したのが下図です。炭酸ガス、一酸化炭素の発生量は最も少なく、亜硫酸ガスは発生しません。（次号へ続く）

燃焼時の容積当り発生ガス比較表

(単位 g/試料1cc)

試料	炭酸ガス	一酸化炭素
スチレンフォーム 50倍発泡 (比重 0.02)	0.014	0.003
発泡スチレンシート (PSP) 10倍発泡 (比重 0.1)	0.080	0.009
木材 (比重 0.5)	0.275	0.019
紙 (比重 0.8)	0.542	0.052



東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
 名古屋営業所 名古屋市中村区笹島町1-221-2(豊田ビル3F)
 化工機課 TEL <052> 561-8341

全国業界ニュース

◎コンテナ業界が工業会を設立◎

農業用プラスチックコンテナのメーカーである三甲、積水化学、岐阜プラスチック工業など14社は「農業用コンテナ工業会」を設立した。会長会社は三甲、副会長会社は積水化学。

◎シートの20%軽量化に成功◎

東洋護謨化学工業は、クッション体の内部にパイプ状の高密度弾性体を挿入して一体成形した「クッション体(車用シート)」を開発した。この一体成形品は、座席シートに成形した場合、従来品と比べ約20%も重量をダウンできるとしており、座席シート分野へ進出できるものとみられる。

◎ウレタン製のバンパー量産へ◎

東洋ゴム工業、エム・テー・ピー化成、三ツ星ベルトの3社はウレタン製自動車バンパーの量産体制に入った。自動車の安全対策として、世界的にゴムあるいはプラスチック製の衝撃吸収バンパーへ切り替えが進行していることに対処したもので、3社とも研究開発の強化や設備増強を進めつつある。

◎世界初のプラスチック製活字◎

住友ベークライトは、世界で初のプラスチック製活字(ホイール)を開発し、本格的な市場開拓を始めた。材料は熱硬化性樹脂をベースとしたもの、熱可塑性樹脂をベースとするもの、また両樹脂を複合したものなど数種類あり、いずれも容易に塗膜の厚い金属メッキができる。

熱硬化性樹脂をベースとする活字は、従来の活字に比べ耐久力が7倍以上の長寿命で、1度装着すれば取替作業は不要。また、約100ミクロンの厚い塗膜メッキが可能のために軽量化

でき、過酷な条件下でも鮮明な印字が得られるという。このためコンピュータ、レジスタなどのデータ通信システムの端末装置用活字として需要が期待される。

◎日水化が金型温度調節機市販◎

日水化工(川口市西川口)はプラスチック射出成形用金型温度調節機「モールドバイザー」を市販した。

特徴は①比例制御方式を採用、金型温度は設定温度に対し、プラス、マイナス1度Cの高精度を維持できる②金型フィードバック方式により射出樹脂温度、室温などの変化に敏感に反応、型温を制御する③高性能ポンプを採用した一など。

価格は水用が47万円、油用が56万円。

個人が発表した昔の天気

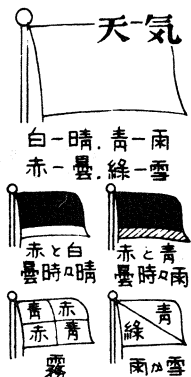
雑学事典

テレビの天気予報などでは番組の終わりに「気象協会の〇〇です」と個人名を名乗っているが、昔の新聞の天気予報も「〇〇氏の予報」というように担当官名で発表していた。

気象台による天気観測は明治8年に始められ、明治16年2月から天気図の作成に入った。その4月から新聞に天気実況というのが掲載されるようになり、6月から東京では主な巡査派出所に天気図が掲示された。

明治17年6月から全国の予報もできるようになり、同21年から新聞紙上に載るようになった。

明治22年7月の新聞紙上(団々珍聞らん)に「天気予報はあたるものかい」「よほうどあたるらしい」という笑い話が出ていた。



生活用品がずらり 名古屋駅前で見本市開く

名古屋市と生活用品振興センターは、2月8日から2日間、名古屋駅前にある愛知県中小企業センターで「第3回中部生活用品見本市」を開いた。この見本市は生活用品、事務用品、室内装飾装備用品、室外装飾装備用品、スポーツ用品、レジャー用品、かん具、ギフト用品などがぎっしり展示され、東西の間屋、量販店、商社など流通関係者との間に商談がはずんだ。

見本市は当工業組合も協賛しており、プラスチック業界と関係ある商品が多数展示され、関心を集めた。(写真は同見本市のポスター)

しんぷろ めししょん

〈第7回日本プラスチック・ゴム見本市=ジャパンプラス78〉

開催日は53年11月17日から23日までの一週間。会場は東京の晴海国際見本市会場で盛大に開かれる。展示内容はプラスチックとゴムに関する原料、材料など副資材、製品および応用・利用製品、加工・製造機械およびその関連機器、金型、金型素材および金型加工機器、公害対策機器・装置および製品。

51年10月に大阪で開かれた同見本市につづく開催で、出品会社は約250社、約1,000小間が予想される。また、入場者も開催7日間で約30万人にのぼる見通し。なお、連絡先は日本プラスチック見本市振興会、電話03-542-3557。

〈1978年度、国際ゴム・プラスチック展=ユーロプラスチック78〉



開催日は6月13日から21日まで9日間。会場はフランス、パリ市ポルト・ド・ベルサイユ見本市会場で開かれる。今年最大の国際的なゴム・プラスチック関係の見本市。4年ごとに開催される。

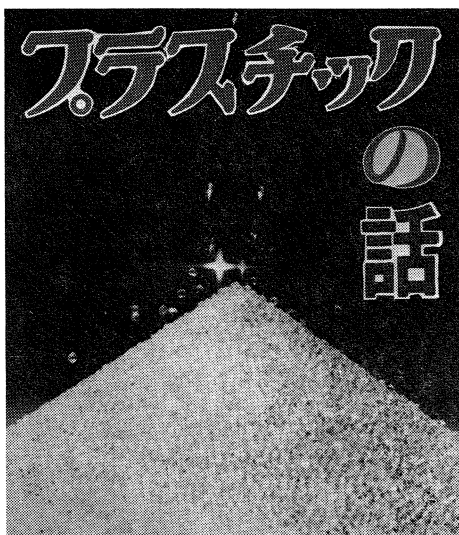
出品受け付けはすでに順調に進み、昨年12月現在で28カ国961社が決定している。最終的には前回の約17%増に当たる1,300社以上にのぼる見通し。

現在の出品状況は、全体の44%に当たる420社がフランス国内の出品。海外からの出品は西ドイツ151社、イギリス46社、ベルギー28社、スイス23社などで、日本からは日精樹脂工業など3社。

なお、日本プラスチック工業連盟では、視察団の派遣を企画している。

〈インターバック'78〉

開催日は6月8日から14日までの7日間。会場は西ドイツ、デュッセルドルフ、ニューフェア・グラウンド。



メリット多い容器

プラスチック廃棄物の形状は大半が容器・包装材などです。もしプラスチック廃棄物をなくすとしたら、これらの容器や包装材をなくさねばなりません。そのとき、私たちは、どんな容器・包装材を使えばいいのでしょうか。プラスチックがなかった時代のガラスや金属あるいは紙を使えばいいという意見もあるでしょう。

プラスチックに代わる資源ということで、もっともメリットのあるのはガラスです。容器類をすべてガラスに置き換え、回収率を100%に近付ければ、ワンウェイのプラスチックに比べ、ごみ問題は軽減するかもしれません。

しかし、ガラス容器は重く、割れ易いという点からみると、その輸送上の面で難点があります。

ガラスびんがすべて回収され、繰り返し使用されたうえでの仮定で、さらに考えてみましょう。回収されたびんは、そのままでは使えませんので十分に洗浄、消毒することが必要です。

注目したいポリ容器の経済性

下記の表はラバーダイジェスト誌に掲載されたもので、イギリスで流通している牛乳容器をすべてガラスびんもしくはポリエチレン容器にした場合の経済性を比較したものです。

1回で使い捨てられるポリエチレン容器をだれが回収するのか、自治体が回収するとすればその社会的コストなど不明な点がある半面、びん洗浄のための水使用量の問題は水資源、水質汚濁の面からも無視できない要因があります。

日本製壘協会の調べによると、現在、国内で1年間に生産されるガラスびんは約170万トン、1升びん（1.8リットル）に換算して17億本分の生産されていますが、このうち約41万トンは使い捨てを目的にしています。これを洗浄すると水、洗剤は莫大な量になります。

牛乳びん（ガラス）とポリエチレン容器の経済性比較

対 比 項 目	ガ ラ ス び ん	ポ リ エ チ レ ン 容 器
1ポイント(568cc)びんの平均重量	340g	13g
びんの平均寿命	23回転	1回転
廃 棄 率	4.3%	100%
年間の全廃棄量	168,400トン	151,800トン
びん洗浄のための洗剤使用量	1,000トン	0
びん洗浄のための水使用量	250億ℓ	0
びん洗浄水を加熱するための燃料	75,000トン	0
輸送所要トラック台数(空びん)	14,000台以上	7,600台

『配心施』の心構え

宇野土岐男



私どもは家庭生活において、あるいは社会生活において、わけても企業の経営において行き届いた心配をすることが大切ではないでしょうか。この「配心施」の心構えこそ、人間味のある生活環境を作ることであり、そのことが人間としての生活特権ではないでしょうか。

私どもの会社は、昨年、創立15周年の記念すべき年でございました。本年はその後を受けて新生第一歩を踏み出した次第でありまして、小さいながらも力強く躍進を続けて行きたいと願っています。幸いにも今年は干支の上では馬年にあやかって、大いに伸展いたしたいと考えております。企業経営に「より一層、配心施」の姿勢を強めまして職業人としての価値を高めて行きたいものであります。

創立いらい15周年を回顧しますのに「私どものような小さな企業では郷土に生まれた企業として、郷土の人々と共に歩むこと」が大切な事と考えまして、郷土と共にあるの心構えに徹してきました。それだけに企業姿勢に「配心施」の精神を強く打ち出してきました。

「配心施」とは、申すまでもなく相手の身になって心を配ることであって、企業経営に当たる者は、つねに細心の心配りが大切だと思われまします。

従業員に対しては、就業中のみならず、通勤

途上の安全問題から家庭の生活や家庭の事情にまで心を配ってやるのが、従業員を安心して就業させることになり、家庭を含めて企業に対する関心を強めることにもなると考えます。

現代の企業経営は、資金繰りの面でも企業に対する信頼度の面でも経営者の心痛むほどの心配りが必要で、一日の心配りの怠りでも出せば企業の存亡にかかってきます。少しの油断から納入日が遅れば得意先さえ失うことにもなりかねない経済社会でございます。経営者の細心の心配りこそ、企業の存亡を握る鍵ではないでしょうか。

社会を取り巻く環境が悪いと、行政に対する不信感が生じてきます。これにはいろいろの原因がありましようが…政治や行政が住民に対する思いやりが足らなかったり、住民の立場に立って細心の心配りが欠けていることが大きな原因ではなからうか。

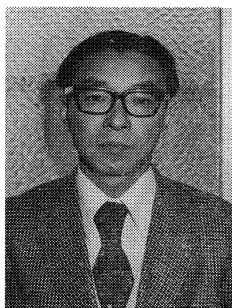
政治や行政が住民に対する心配りよりも「自分の票の多寡」にとらわれて、真の住民に対する思いやりが空になるのではないか。政治や行政に真の「配心施」の姿勢が必要であり、次元の高い政治理念なり、行政への態度をもって、住民に対する思いやりの心情に溢れる政治や行政を求めたいものであります。

今こそ政治家も行政に当たる者も、さらには企業経営者も含めて、世の指導者は瞑想三昧…真の「配心施」の修業を積むべきではなからうか。
(東海化成工業所社長)

組合員の皆さんの投稿をお願いします。ずいひつ、詩、短歌、俳句、また写真などどんな作品でもよろしいので、組合事務局までお寄せ下さい。

資源再利用に大きく貢献

美濃化学工業を訪問



吉田 博司 社長

組合員の工場拝見2月は、美濃市上条にある美濃化学工業（資本金800万円、従業員25人）を訪ねた。工場は国道156号線を狭んで南側の本社と工場、北側の倉庫と集出荷場にわかれる。樹脂原料の再生加工と着色加工が主力事業だけに、工場内部は特有の臭気がたどよう。

ここに設置される押出機は3基だが、専属下請工場を含めると130ミリ8基、85ミリ1基の合計9基が稼動する。その再生能力は月産300トンを上回り、資源再利用に大きく貢献するところ。

製紙原料の問屋から企業転換

社長の吉田博司さんとプラスチックの出合いは昭和38年。兄さん（吉忠化学工業）が同じ美濃市で中空成形加工をしていたからだ。吉田さんはそれまで製紙原料のコウゾ、ミツマタ、ガンピを取り扱う紙の原料問屋だったのが、紙産地の斜陽化から思い切ってプラスチックへ転業をはかったもの。当初の2年は個人企業でスタート、現常務の宮西嘉三さんと2人3脚で樹脂の格外品を買い集めては再精製する毎日だったという。

紙原料が樹脂原料に変わったものの、吉田さんの商才は活かされ、需要の増大とともに企業は急成長し、下請け企業は専属を含めて7工場

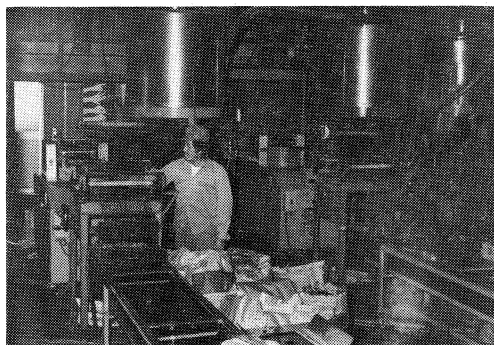
ももつようになった。

同時に再生技術も磨かれ、最近ではポリプロピレン、ポリエチレン、ABS、ASなどを主に熱可塑性の樹脂はほとんど手がけるまでになったという。

産地化した美濃の再生加工業

紙問屋から樹脂再生とその販売へと転進して、こととして15年、吉田さんは「誠実をモットーに進んできたおかげ…」とふりかえる。さらに「こうした資源の再生、再利用は21世紀に向かっては絶対に必要なことです。新製品を加工して花やかに売り出す事業と違ってきわめて地味ではあるが、大切な仕事と意義を感じています」と話している。

この美濃市のプラスチック加工産業は盛んで、



なかでも原料樹脂の再生加工業は美濃化学と系列以外に8工場もあり、その再生加工能力は月産600トンから700トンにのぼる。このため吉田さんは「全国でも珍しい再生原料産地の形態が整いつつある」として、地域業者の結束を呼びかけている。（写真は美濃化学の再精製工場）



会報についてのお願い

当工業組合が毎月会報を発刊するようになって3年目に入りました。この間、通算して第22巻を制作し、お送りすることができました。

また、内容については役員会や会員の方々が組合事務所へおいで下さった折にご意見をいただき、ご要望にそ

うに努めてまいりました。こんごもなお一層、会報充実に力を入れていきたいと思っています。

なお、組合員の方で「組合員の工場拝見」に登場されたい方、新製品の紹介、工場の新增設など、記事掲載についてのご希望がありましたら電話でご一報下さい。取材にいきます。

技能短期講習会開催についてお願い

当工業組合は22日から2日間、県の工業技術センターで技能短期講習会を開きます。この講習会は、業界の技術レベルのアップをはかるとともに、技能検定受験を前提とした講習にもなっていますので、会員会社の技術者派遣をお願いします。受講料は事業そのものが国と県の補助事業になっていますので、1人1,000円の負担ですみます。

24日に公害防止の講習会開催

岐阜県環境部は2月24日午後1時から、岐

阜県庁2階大会議室で「公害防止思想普及経営者講習会」を開きます。テーマは「環境—そのルールとコスト」で、講師は三重大学医学部教授、岐阜県公害対策審議会委員の吉田克己氏です。このほか「円高と今後の経済動向」について十六銀行企画調査部の町田壮二氏が講演されます。組合員の方々、ご出席下さい。

おくやみ

三栄プラスチック(岐阜市若杉町13)の野村俊夫社長の母堂・野村はぎのさんは、さる1月5日、脳血栓のため死去されました。おくやみ申します。

岐阜県のプラスチック 1978 2月号

昭和53年2月5日印刷

昭和53年2月6日発行

発行 岐阜市六条1337(岐阜産業会館内)

電話(0582) 72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話(0582) 47-7231

中部パブリシティセンター

三菱油化株式会社

取締役社長 黒川久

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

昭和52年9月プラスチック工業統計

【出所：通産大臣官房調査統計部】

(単位：重量：t，金額：千円)

品 目	生 産 量		消 費 量	出 荷			月末在庫量
	当 月	累 計		販 売		そ の 他	
				数 量	金 額		
フェノール樹脂計	21,741	182,731	2,930	18,206	8,167,051	621	15,150
成形材料	5,088	43,358	222	4,803	1,628,417	172	3,391
積層品	5,565	48,514	2,164	3,353	3,893,168	—	5,086
シェルモールド用	2,910	24,707	339	2,463	815,359	320	2,133
木材加工用接着剤	2,444	16,760	96	2,263	272,341	5	481
その他	5,734	49,392	109	5,324	1,557,766	124	4,059
ユリア樹脂計	50,151	427,050	2,292	46,981	3,889,411	1,476	11,444
成形材料	3,894	38,252	666	3,347	685,167	71	1,833
接着剤	42,689	359,868	1,516	40,546	2,775,399	1,253	6,817
繊維加工用	1,785	14,616	55	1,432	237,854	68	2,056
紙加工用	1,487	12,014	2	1,401	96,150	79	505
その他	296	2,300	53	255	94,841	5	233
メラミン樹脂計	8,216	74,725	1,420	6,475	3,296,581	335	4,422
成形材料	1,012	9,265	104	872	280,438	—	936
化粧板用(1,000m ²)	2,181	19,143	—	—	—	—	—
(t)	720	6,791	—	745	2,197,137	12	834
塗料用	1,526	12,697	622	832	349,667	176	1,071
繊維加工用	381	2,708	24	281	83,980	—	523
紙加工用	154	915	1	94	26,140	—	161
その他	4,423	42,349	668	3,651	359,219	147	897
不飽和ポリエステル樹脂計	13,724	115,868	556	13,133	3,478,492	321	8,852
FRP用	10,546	87,931	435	9,982	2,631,444	118	6,116
その他	3,178	27,937	123	3,151	847,048	203	2,736
フタル酸樹脂	11,013	81,750	5,475	5,592	1,799,659	605	7,858
エポキシ樹脂	2,996	29,905	181	3,675	2,046,925	7	4,905
けい素樹脂	2,138	17,930	2,096	—	—	—	273
ウレタンフォーム計	12,839	103,140	1,847	11,714	6,035,576	132	2,581
軟質	8,933	71,253	559	9,242	4,505,044	127	1,626
硬質	3,906	31,887	1,288	2,472	1,530,532	5	955
ポリエチレン計	112,618	1,091,465	166	122,401	24,178,335	889	125,364
高圧法	68,076	724,187	97	77,735	15,122,058	339	83,814
中・低圧法	44,542	367,278	69	44,666	9,056,277	550	41,550
ポリスチレン計	72,809	665,381	5,563	70,732	18,585,162	3,291	67,464
成形材料	39,290	357,626	3,339	37,606	8,027,869	3,144	36,130
発泡用	11,278	89,003	2,108	8,536	2,928,203	57	7,407
AS樹脂	3,895	51,746	—	4,650	1,253,239	17	5,266
ABS樹脂	18,346	167,006	116	19,940	6,375,851	73	18,661
ポリプロピレン	51,709	471,431	485	48,278	9,985,952	252	85,498
ポリブテン	1,614	16,381	6	1,427	241,030	—	4,287
石油樹脂	6,227	52,586	3	6,945	884,951	—	7,422
メタクリル樹脂計	6,698	66,167	615	6,881	2,997,869	4	7,345
成形材料	2,458	27,716	363	2,657	956,169	—	2,235
板	3,753	33,602	2	3,956	1,944,309	4	4,764
その他	487	4,849	250	268	97,393	—	346
塩化ビニル樹脂計	88,514	786,852	2,407	85,900	13,670,423	2,154	63,682
ポリマー	79,485	718,180	2,407	77,756	11,919,074	2,154	58,500
コポリマー	3,955	29,304	—	3,436	628,789	—	1,826
ペースト	5,074	39,368	—	4,708	1,122,560	—	3,356

昭和52年8月プラスチック製品統計

〔出所：通産大臣官房調査統計部〕

(単位：重量；t，金額；千円)

品 目	生 産 量		出 荷			在 庫 量
	累 計	当 月	出 荷 量		金 額	
			累 計	当 月		
総 合 計	2,054,237	249,300	2,115,270	257,130	141,695,499	219,355
フ イ ル ム (計)	522,882	63,723	517,948	64,557	25,489,072	58,002
軟 質 製 品 (小計)	499,966	61,259	494,292	62,025	24,545,847	54,975
農 業 用	68,718	9,266	67,637	9,116	3,324,205	20,025
包 装 用	295,516	35,444	305,664	37,946	13,447,275	26,533
ラ ミ ネ ー ト	53,454	6,818	52,604	6,765	3,264,934	1,857
そ の 他	82,278	9,731	68,387	8,180	4,509,433	6,560
硬 質 製 品 (小計)	22,916	2,464	23,656	2,532	943,225	3,027
シ ー ト	118,312	14,576	119,165	14,427	4,812,800	9,969
板 (計)	74,503	9,250	78,117	8,946	3,419,209	9,337
平 板	43,876	5,309	45,515	5,203	2,383,177	5,291
波 板	30,627	3,941	32,602	3,743	1,036,032	4,047
合 成 皮 革	86,189	10,731	86,064	10,844	7,924,007	5,701
パ イ プ	253,570	30,227	248,432	30,328	7,183,240	31,510
継 手	25,137	3,396	24,990	3,078	1,724,197	4,863
機 械 器 具 部 品	233,546	29,110	250,717	31,251	31,952,281	14,108
日 用 品 ・ 雑 貨	157,080	18,294	185,287	21,320	15,401,280	19,588
容 器 (計)	101,026	11,704	111,391	12,224	7,112,394	13,248
中 空 成 形 容 器	45,718	5,596	47,790	5,895	4,192,224	4,677
そ の 他	55,308	6,108	63,601	6,329	2,920,170	8,571
建 材 (計)	140,015	15,699	143,699	16,643	5,719,949	18,021
雨 ど い お よ び 同 付 属 品	26,481	3,115	30,120	3,650	1,951,446	6,240
床 材 料	91,404	9,443	91,902	9,986	2,215,233	10,114
そ の 他	22,130	3,141	21,677	3,007	1,553,270	1,667
発 泡 製 品 (計)	100,491	12,842	101,342	12,918	7,025,218	8,826
板 物	31,746	4,149	31,914	4,710	2,491,363	3,808
型 物	37,520	4,671	39,539	4,307	2,210,384	2,000
そ の 他	31,225	4,022	29,889	3,901	2,323,471	3,018
強 化 製 品 (計)	52,691	6,600	54,674	6,946	7,332,941	7,005
板 物	11,370	1,497	11,389	1,473	1,345,319	1,468
型 物	30,116	3,630	31,805	4,063	4,576,773	4,918
そ の 他	11,205	1,473	11,480	1,410	1,410,849	619
そ の 他 (計)	188,795	23,148	193,444	23,648	16,598,911	19,176
ホ ー ス	27,187	3,097	30,086	3,234	1,607,166	2,572
照 明 用 品	2,315	216	2,382	220	179,881	52
レ コ ー ド	8,334	957	7,613	762	3,679,498	1,028
そ の 他	150,959	18,878	153,363	19,432	11,132,366	15,524
浴 槽 (個)	683,255	82,466	627,855	76,106	—	141,323
浄 化 槽 (個)	90,141	10,046	142,414	17,809	—	7,124

昭和52年8月プラスチック製品品種別生産・構成比

(上段：生産量；t，下段：構成比；%)

	合 計	フ イ ル ム	シ ー ト	板	合 成 皮 革	パ イ プ 継 手	機 械 部 品	日 用 品 雑 貨 容 器	建 材	発 泡 製 品	強 化 製 品	そ の 他
当 月	2,054,237	522,882	118,312	74,503	86,189	278,707	233,546	258,106	140,015	100,491	52,691	188,795
	100.0	25.5	5.8	3.6	4.2	13.6	11.4	12.6	6.8	4.9	2.6	9.2
累 計	249,300	63,723	14,576	9,250	10,731	33,623	29,110	29,998	15,699	12,842	6,600	23,148
	100.0	25.6	5.8	3.7	4.3	13.5	11.7	12.0	6.3	5.2	2.6	9.3

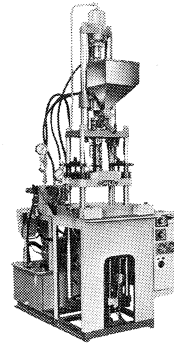
さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量 5グラム (1/4オンス) より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用命下さい。

— 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。
— 成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー —

株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町32番地	TEL(03) 972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482) 51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市北区楠町味鋸政所28番地	TEL(052) 901-5861番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代) 八王子出張所	TEL(0426) 51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番 小倉出張所	TEL(093) 471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番 城南出張所	TEL(03) 776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785番 沼津出張所	TEL(0559) 22-9610番

不飽和
ポリエステル
樹脂

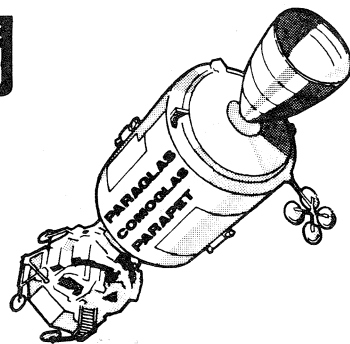
ポリマール®

ポリマール®マット

▲ 武田薬品工業株式会社

本社	大阪市東区道修町2-27	TEL 06-204-2460
東京支社	東京都中央区日本橋2-12-10	TEL 03-278-2788
名古屋支店	名古屋市中区錦2丁目2番13号	TEL 052-202-7051

限りなき創造空間 への挑戦



メタクリル樹脂・注型板

パラグラス[®]

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成型材料

パラペット[®]

国産無公害資源“天然ガス”の総合開発分野をリードする協和ガス化学。その『メタクリル樹脂製品』は生産量で世界の五指に数えられ、モノマーから、ポリマーまで一貫生産され、圧倒的信頼とシェアを誇っています。



協和ガス化学工業株式会社

本社/〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)271-3001
大阪事務所/名古屋営業所/福岡営業所/仙台営業所

UL-94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL.(03)541-4111・名古屋支店/TEL.(062)571-1231

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

新製品 粒状カラー

ダイカラー グラニュー

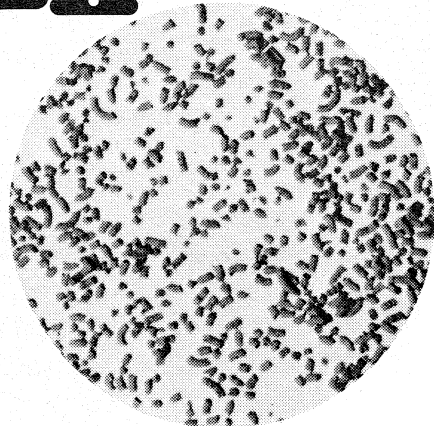


7つの特長

プラスチック着色合理化の決め手——コストダウンに直結する簡易着色法に最適の粒状カラーが「ダイカラーグラニュー」です。従来のドライカラー・液状カラーに比較して、よりすぐれた7つの特長を持っています。

1. 飛散性が少なく職場を清潔に保ちます。
2. 自動計量安定性がすぐれています。
3. すばらしい分散性を示します。
4. ソフトな粒状で軽い攪拌でほぐれます。
5. 直接投入式着色法に最適、カラーブレンド工程を省略できます。
6. 成形品の物性を低下させません。
7. 成形性に影響を与えません。

〈ダイカラーグラニュー〉は現在市販中の大半の自動計量機にそのまま適用できます。



●名古屋支店……………名古屋市昭和区花見通り2-3 ☎466 Tel 052(831)3211

騒音防止板“レラム-S” 騒音対策コンサルタント

電話一本で貴社の悩みを解決します
防音工事全搬のご相談に応じます

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市東区中村区広小路西通り3丁目4番地(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1304代

出光の石油化学製品



◎取扱品目

ポリスチレン
高压ポリエチレン
中低压ポリエチレン
ポリプロピレン
ABS樹脂
不飽和ポリエステル
カルブ®
ポリカーボネート

出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
東京営業所 東京都中央区日本橋1-7-17(日本橋東海ビル) 〒103 ☎ 03-272-8331
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611
大阪営業所 大阪市北区小松原町27(富国生命ビル) 〒530 ☎ 06-312-8841
福岡営業所 福岡市中央区大名2-8-26 〒810 ☎ 092-721-6617



生きてる素材。 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

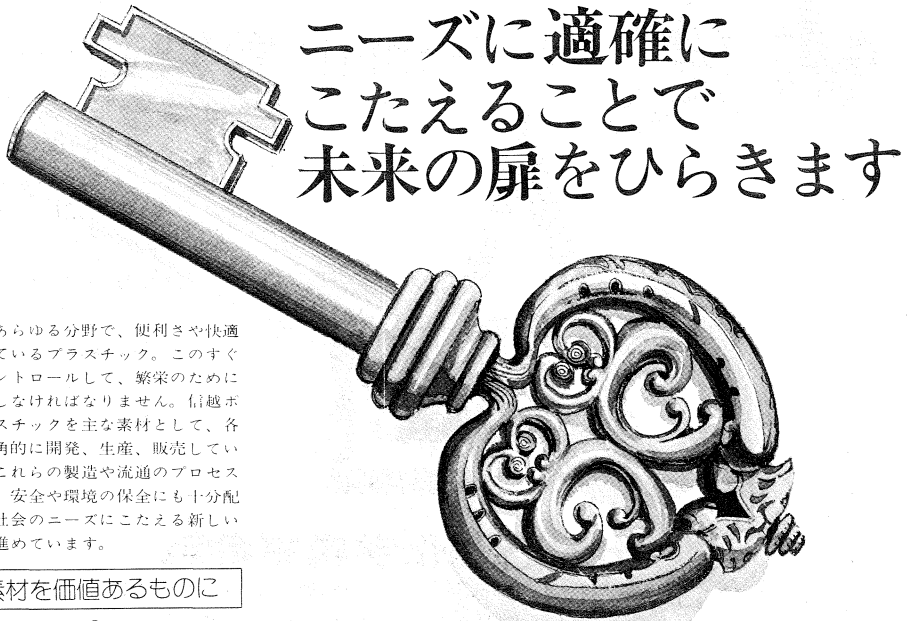
メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® **ABS**

三菱レイヨン
東京(272)4321／大阪(202)2241／名古屋(561)6711



ニーズに**適確に** こたえることで 未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあっても、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋市市中村区広小路西通3-4(新名ビル東館) ☎052-581-14231

日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダーのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

NISSEI
P

1歩進んだ射出成形機をおとどけする
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代)〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎(0582)72-5952

合成樹脂原材料及び機械

KOSHI

日清紡績株式会社代理店
三菱モンサント化成株式会社代理店
ダイセル株式会社代理店
松下電工株式会社代理店
三菱レイヨン株式会社代理店
日本合成化工株式会社代理店
三菱瓦斯化学株式会社代理店
東芝ケミカル株式会社代理店
其他著名メーカー特約販売



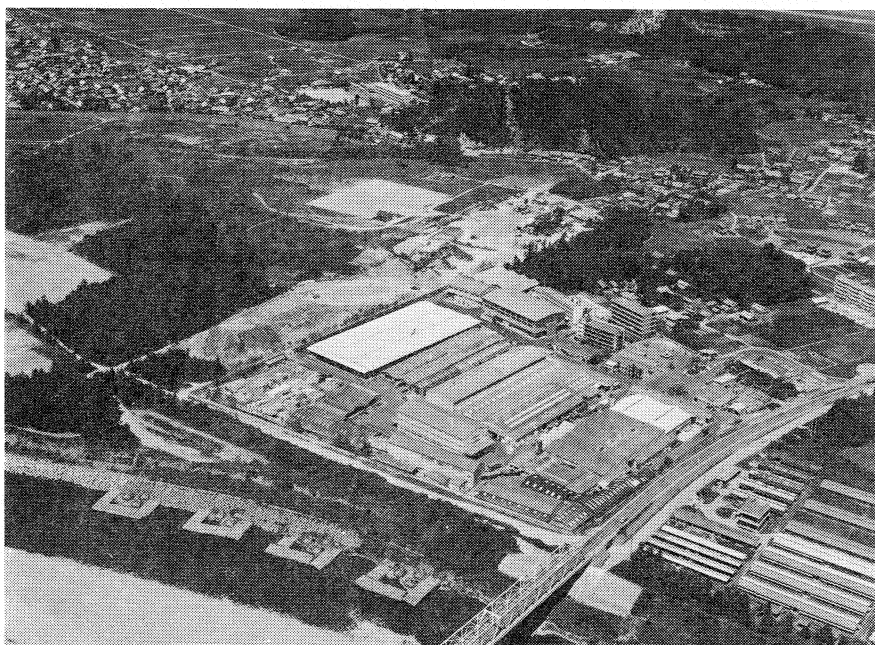
甲子産業株式会社名古屋支店

名古屋市昭和区白金1丁目4番13号
電話 (052) 882-0631(代表)

すぐれた品質と広範囲なシェアをもつ!!



リスのプラスチック



非常に多くの適用範囲でしかも経済的に使用できる商品は他にはない。リスマークは岐阜プラスチック工業(株)が成形しているプラスチック製品につけられたブランドネームです。全国における販売シェアは常にトップクラスにランクされています。

家庭用品から大形コンテナまで、そのすぐれた品質・機能・デザインは全国の市場で高く評価されています。

岐阜プラスチック工業株式会社

本 社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支 店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮